

## 第3学年 英語科学習指導案

授業者 山田 善紀(T1)、平井 徹(T2)、  
Dustin Henrich(ALT:T3)、  
Kate Hirata(英語教育支援員:T4)、  
蛭子谷 文子(英語教育支援員:T5)

■日時 平成25年(2013年)11月1日(金)6限(14:25~15:15)

■実施学年 能勢町立東中学校 3年1組(女子16名、男子9名 合計25名)

■場所 英語ルーム(3階)

■単元名 NEW CROWN(三省堂) Lesson 8 English for Me (p91-97)

- 単元目標
- 英語を学ぶ意義について考える
  - how to ...、what to ...などについて理解し、使う。

■生徒観 本学級の生徒は、中学校に進学した時より教科として新しく加わった英語の学習に対し、意欲的に取り組んできた。この2年と半年の間様々な外国人の方と交流の機会を持ったり、外国の文化、生活習慣を見聞したり、体験したりして来た経験より、英語を使って外国人の方とコミュニケーションをとることに関しての抵抗感はとても低い生徒たちである。そのような生徒たちに、自分の考えや意見を自分の言葉で発する力をより高めていきたいと考え、今回の取り組みを試みた。

### ■学習計画

第 1~4時 Lesson 8

第 5時 ディベートに向けて(1): 質問の仕方、議論の組立ての練習

第 6時 ディベートに向けて(2): 肯定派、否定派にわかれ、主張をまとめる

第 7時 ディベートに向けて(3): 3人1グループで Micro Debate を行う

第 8時 ディベートの練習(1)を行う\*本時

第 9時 ディベートの練習(2)を行う

第 10時 ディベート本番

### ■本時の目標と評価

本時の 目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予め自分の用意した主張を明確に述べるができる。</li><li>・ 相手側の主張に対して質問をすることができる。</li><li>・ 相手側の質問に対して応答することができる。</li></ul> <p>以上の3点が討論会本番でできるよう支援を行う。</p>
評価規準	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>•自分のグループメンバーと積極的にコミュニケーションをとろうとしている。</li> <li>•相手グループの意見をよく聴き、質問をすることができる。</li> <li>•自分の主張を明確にすることができる。</li> </ul>
--	---

■本時の展開

	生徒の学習活動	教師の支援	評価
導 入 (10分)	• Greeting		【積極的に活動に参加している】
	• Warm-up ペアで1分間ずつ質問をし合う。	T1 は、質問が出やすいようヒントとなる疑問詞などを紹介する。 T2～T5 は、言葉に詰まっている生徒を支援する。	【相手の意見をよく聞いている】
	• Reporting パートナーの意見をレポートする。	T4, T5 が生徒のレポートを聞き、質問などを投げかけ、自然なコミュニケーションをとる。	【大きな声を出そうとしている】
展 開 (35分)	• 6つグループに別れる。 自分のグループの主張を検討し、まとめる。	肯定派(3)・否定派(3)の中に T1～T5 が入り、英文作成の支援を行う。	【積極的に活動を行っている】
	• 反論・質問に対する答えをまとめ、発言の準備を行う。	↓	【英語をよく聞き、話そうとしている】
	• 模擬ディベート(1つの班) 他の班は、判定を行う。 (15分)	T1 は、模擬ディベートの進行を務める。	【大きな声で、聞いている人に伝わる発表ができています】
ま と め (5分)	• 本日の活動の振り返り • 「学ビシート」に記入する。 • T.T.S に記入する	T3, T4, T5 が T.T.S の内容をチェックする。	

準備物・・・「学ビシート」・「判定用紙」・「ディベートに勝つための準備シート」

## 学びシート

1. 学習内容について自己評価しましょう。

		よくで きた	できた	も う 少し
①	予め自分の用意した主張を明確に述べることができる			
②	相手側の主張に対して質問をすることができる。			
③	相手側の質問に対して応答することができる。			

2. 今日の学習の感想を書きましょう。

--

No ( ) Name \_\_\_\_\_

ご高評価欄

--